

# 「古仁屋高等学校の文化財探訪の取組」

## 1 学校名

鹿児島県立古仁屋高等学校

## 2 学年・人数

1年生 17人

2年生 18人(日本史選択者)

3年生 15人(日本史選択者)

## 3 日時・場所

(1) 瀬戸内町による「せとうち出前講座『奄美の遺跡』」

令和4年11月1日(火)

総合的な探究の時間(1年)の中で、せとうち出前講座を利用して、瀬戸内町教育委員会職員による「奄美の遺跡について」の講座を行った。

(2) 「奄美大島要塞跡」に関する授業

令和4年12月19日(月)・20日(火)

歴史総合(1年) 日本史B(2年・3年)の授業の中で「奄美大島要塞跡」の構成遺跡のうち、西古見砲台跡、安脚場砲台跡、手安弾薬庫跡の3遺跡の説明を行った。

(3) 学校周辺に残る戦争遺跡見学

令和4年12月20日(火)・21日(水)

歴史総合(1年) 日本史B(2年・3年)の授業の中で、学校周辺に残る奄美大島要塞司令部跡、軍道跡などの見学を行った。

## 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 嘉徳遺跡(かどくいせき): 縄文時代
- ・ 奄美大島要塞跡(あまみおおしまようさいあと): 近現代

(2) 特徴

嘉徳遺跡は縄文時代の遺跡で、本土に分布の中心がある市来式土器と在地の面縄東洞式土器が同じ遺構から出土したことから、南島と本土との時間的関係や交流が明らかとなった。

奄美大島要塞跡は、奄美大島と加計呂麻島に挟まれた大島海峡東西口を中心に建設された陸軍の要塞跡であり、近代日本の国防政策と密接に関係ある遺跡群である。

## 5 保存会や地域との連携の具体

総合的な探究の時間に町の出前講座を活用して、瀬戸内町教育委員会職員による奄美の遺跡に関する講話を実施した。戦争遺跡に関するシンポジウムなどの町教育委員会による史跡・文化財に関する取組などにも積極的に参加した。

## 6 活用の取組の工夫した点

実際に、現存する戦争遺跡を見学するなどし、戦争の痕跡を実感させるとともに、遺跡の写真や奄美大島要塞遺跡近辺の立体地図などをICTを活用することで効果的に説明することができた。

## 7 取組の様子（研究発表、創作劇等）



「学校周辺に残る戦争遺跡見学」



「せとうち出前講座『奄美の遺跡について』」

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【生徒】

- ・ 壁に銃弾の跡がたくさん残っていて驚いた。
- ・ 嘉徳の縄文土器には、いろいろな文様や形があり技術の高さを知った。
- ・ また、学校を出て遺跡を探しにいきたい。

### 【教員】

- ・ 学校周辺に残る機銃掃射による痕跡は、戦争の生々しさを伝える生きた教材だと感じた。
- ・ 瀬戸内町にこんなに多くの戦争遺跡が良好な状態で残っていることは重要である。戦争の悲惨さを伝える平和教育にも役立てていきたい。